



令和6年度4月実施 全国学力・学習状況調査の結果

●問合先 学校教育課学校教育係 (☎23-3185)

小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数・数学の学力調査と学習意欲や生活のことなどを調査する、全国学力・学習状況調査がありました。

調査結果については各学校で分析し、課題を明らかにして具体的な対策を考え、授業の改善や家庭学習をはじめとする基本的な生活習慣の定着につなげます。

1 学力調査 (正答率)

小学校 (第6学年)

	国語	算数
全国	67.8%	63.6%
県	66.0%	62.0%
市	63.0%	58.0%

●良好だった項目

国語：言語の特徴や使い方に関する事項

算数：知識・技能

●課題がある項目

国語：我が国の言語文化に関する事項、書くこと

算数：数と計算、変化と関係

中学校 (第3学年)

	国語	数学
全国	58.1%	52.5%
県	55.0%	48.0%
市	51.0%	44.0%

●良好だった項目

国語：我が国の言語文化に関する事項

数学：データの活用

●課題がある項目

国語：書くこと、読むこと

数学：数と式、図形、関数

2 質問紙 (生活・意識) 調査

小学校 (第6学年)

■全国・県との比較で良好だった項目

▷将来の夢や目標を持つことができている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	82.4%	9.8%	7.7%
県	83.2%	9.9%	6.8%
市	84.8%	7.3%	7.9%

※そのほかの良好な項目は『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う』『人の役に立つ人間になりたいと思う』がありました。

■全国・県との比較で課題がある項目

▷自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	75.8%	18.6%	5.5%
県	76.7%	18.2%	5.1%
市	69.2%	23.1%	7.7%

▷家庭学習 (塾などを含む) での勉強時間【平日】

	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	23.5%	31.1%	45.4%
県	18.6%	28.8%	52.6%
市	12.1%	23.1%	64.8%

中学校 (第3学年)

■全国・県との比較で良好だった項目

▷将来の夢や目標を持つことができている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	66.3%	20.6%	13.1%
県	67.0%	20.7%	12.3%
市	68.0%	21.0%	11.0%

■全国・県との比較で課題がある項目

▷自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	76.2%	18.7%	5.1%
県	76.2%	19.2%	4.6%
市	69.1%	25.0%	5.9%

▷家庭学習 (塾などを含む) での勉強時間【平日】

	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	31.7%	32.6%	35.7%
県	19.2%	29.7%	51.1%
市	14.4%	25.0%	60.6%

※無回答などにより、割合の計が100%にならないものがあります。

※【★】・・・『あてはまる』は、『あてはまる』と『どちらかといえばあてはまる』をあわせた数値

学校・家庭・地域の役割

伊万里で育つ子どもたちが、将来の夢や目標を持ち、郷土や友人を大切にしていることが分かります。多様性のある社会を生き抜く力を身に付けるためには、本に触れて心を豊かにするなど次のようなことが必要です。

■学 校 各学校で結果を分析し、主体的に学習に取り組むための方策や話し合い活動などの他者との意見交流を取り入れた活動について、職員全員で議論し、研修を行うなどして授業を改善していく必要があります。また、良い結果を認めて褒めることで、子どもたちに自信を持たせなければなりません。

■家 庭 親子で将来の夢やその実現について話し合う機会を持ったり、読書を通じて、その内容などについて話し合う機会を持ったりすることで、子どもたちが自己実現のためのビジョンを持ち、計画的に物事に取り組む姿勢を養うことができると考えています。これは、家庭学習の充実にもつながります。

■学校と地域との連携 コミュニティ・スクールや地域の行事に参加するなどして、子どもたちがさまざまな年代の人と交流を深めることで「自分が人の役に立っている」「貢献している」という『自己有用感 (※)』を高めることができます。このことは、多様性がある社会を生き抜く力につながります。

(※) 自分が人の役に立っているという気持ち



↑課題曲『かわっただけでよ へんじじゃない』を披露する児童たち

伊万里小コーラス部 全国コンクールへ

伊万里小学校コーラス部が、8月に開催されたNHK全国学校音楽コンクール九州・沖縄ブロック大会で金賞を獲得し、3年連続で全国コンクールへの切符を手に入れました。

9月12日、5・6年生の部員16人が市役所を訪問し、深浦弘信市長に全国コンクールへ出場することを報告しました。部長の黒川さくらさんは「発声の練習など、ブロック大会の本番直前まで、全員で練習をがんばってきた。全国コンクールでは、私たちの歌声と曲のよいところを伝えたい」と意気込みを語りました。

NHK全国学校音楽コンクール小学生の部は、10月13日に東京都のNHKホールで開催されます。



互いの健康を思いやれる社会へ

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係 ☎23・2115

職業観・家庭観が大きく変わる中、すべての人が希望に応じて家庭でも仕事でも活躍できる社会への変革が実現した姿は『令和モデル』と言われています。若い世代を中心に、男女ともに『令和モデル』を希望する人が増えています。その実現にはまだまだ課題があります。

令和6年の『男女共同参画白書』では『令和モデル』の実現には、仕事と健康の両立が重要とされている。そのため多くの企業が性別特有の健康課題に目を向けることが望ましいとされています。白書内のアンケート結果では、健康課題について『気になる症状に対処できている』と回答したのは、男性の割合の方が女性の割合よりも高く『昇進意欲』に関する項目でも同様で、男女では大きな差があるようです。

連続テレビ小説『虎に翼』では、主人公が月経による体調不良で学業を休んだり、無理をして出勤したりする様子が描かれています。職場環境や立場、時代など、理由は複

合的にありますが、周囲に体調不良であることを言えずに我慢してがんばり続ける主人公の姿は、現代を生きる女性の多くが共感したと思います。

これからは、男女の特性を踏まえた健康課題の理解や相談しやすい環境、柔軟な働き方の整備が必要です。

事業主の皆さんが、職場での性別特有の健康への配慮や対処について話し合う機会を持つことで、よりよい環境づくりへ前進するでしょう。『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を解消するための取り組み』『スキルを身につけるための人材育成』『女性のキャリアアップ支援』『女性の役員・管理職のネットワークの構築』など課題は多くあります。課題の解決のために事業主には、ポジティブアクション（積極的改善措置）などの取り組みの推進が求められています。みんながより働きやすくするための取り組みを、できることから取り組んでみませんか。

【伊万里市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』委員】

郷土の文化財

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎22・1262

青幡神社の大楠

伊万里の天然記念物シリーズ③

東山代町里地区に所在する青幡神社の境内には『神木』とされる大きな楠（くすのき）があります。

楠は、クスノキ科の常緑高木で、日本で最も大きく成長する樹種です。『樟脳（しょうのう）』という防虫成分を含んでいることから、家具の材料や建築資材などに使用されています。

青幡神社の楠は、昭和40年に県指定天然記念物に指定されました。県内でもトップクラスの大きさを、根回り約27・7メートル、目通り幹回り（目の高さでの幹の回り）約11・4メートル、樹高約16メートルあります。また、枝は地上から約5メートルのところで大きく三方向に分かれていて、さらにそこから四方に枝葉が生い繋る姿は、とても美しく、圧倒的な存在感を放っています。



青幡神社は、松浦党にゆかりの深い由緒ある神社です。2代当祖の源直（みなもとのなおすけ）が、久安（きゆうあん）年間（1145年～1150年）に支配下であった東山代町の里に政庁を築き、その鎮守として創建したと伝えられています。

この大楠も、古くから神木として人々に親しまれ、今日まで地元を中心に、大切に守られています。